

製品概要

製品形式	公共施設形式	仕様	
FHVW4101A	FSS9MP-321	FHF32W1灯用逆富士形	定格電圧 : 100~242V 定格周波数 : 50Hz/60Hz(共用) 使用場所 : 厨房・脱衣所・洗面所 など湿気のある場所 使用温度範囲 : 5°C~35°C 防水性能 : 防湿形 適合ランプ : FHF32EX
FHVW4201	FSS9MP-322	FHF32W2灯用逆富士形	
FHVW4151A	FSS9MPA-321	FHF32W1灯用逆富士形(SUS製)	
FHVW4170	FSS-MPB-321	FHF32W1灯用逆富士形(白色SUS製)	
FHVW4251	FSS9MPA-322	FHF32W2灯用逆富士形(SUS製)	
FHVW4270	FSS9MPB-322	FHF32W2灯用逆富士形(白色SUS製)	

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などに依頼してください。一般の人の配線工事は法律的に禁止されています。

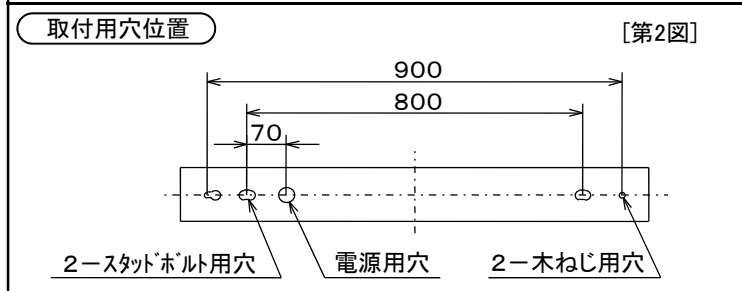
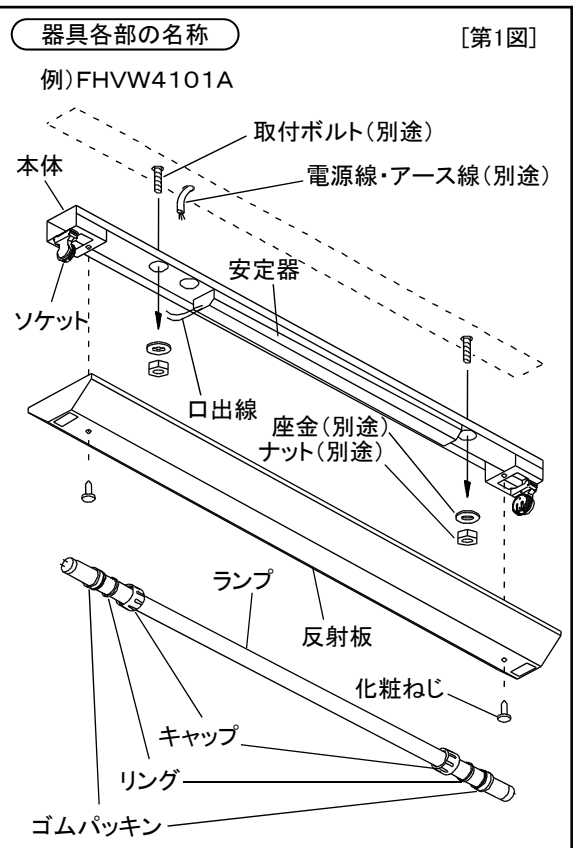
施工者様への安全上のご注意

・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

<p><b>警告</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取付けは取付工事方法に従い確実にこなしてください。不確実な取付けをしますと火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</li> <li>●接地工事は電気設備技術基準に従い、D種(第三种)接地工事を確実にこなしてください。接地が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。</li> <li>●器具を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。</li> </ul>	
<p><b>注意</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●腐食性ガスが発生する場所や充満する場所、塩害が想定される場所やプール等塩素ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となることがあります。</li> <li>●振動や衝撃のある場所、腐食性雰囲気のある場所では使用しないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となることがあります。</li> <li>●電源電圧が器具の定格電圧と一致していることを確認して取付けてください。誤った電源電圧で使用すると、器具の故障により火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>●周囲温度は5°C~35°Cの範囲でご使用ください。温度が高いところで使用すると火災・感電の原因となることがあります。又、温度が低い場合はランプが点灯しないことがあります。</li> <li>●屋外や水のかかる場所での縦取付け・傾斜取付けはお止めください。防水性能が保てず絶縁不良による火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>●この器具は不燃材を使用した取付面に取付けてください。可燃材に取付けた状態で使用しますと、火災・感電・落下の原因となることがあります。</li> </ul>	

器具部品の名称・取付工事方法

- 器具取付方法**
- ① 器具質量に十分耐えられる取付ボルト(W3/8またはM10)を天井に設けてください。[第1図] [第2図]  
※不備がありますと、器具落下によるけがのおそれがあります。
  - ② ソケットを本体レール部にスライドさせ確実に取付けてください。
  - ③ 電源線・アース線を本体に引込みこみながら、本体を取付ボルトにて確実に取付けてください。[第2図]  
●吊下形の場合は必ず指定された吊具(別売品)と合わせて確実に取付けてください。  
(取付けの際には、必ず吊具の取扱説明書を参照してください。)  
※不備がありますと、器具落下によるけがのおそれがあります。
  - ④ 電源線と口出線を確実に接続してください。  
●電源線の接続部は、防水処理を施してください。  
●アース端子を利用してD種(第三种)接地工事をこなしてください。  
※接続が不完全な場合、発熱・火災のおそれがあります。
  - ⑤ 反射板を化粧ねじで取付けてください。  
※不備がありますと、反射板落下によるけがの原因となります。
  - ⑥ ランプをソケットに確実に取付けてください。(ランプの取付方法参照)  
※不備がありますと、ランプ落下によるけがの原因となります。



裏面もかならずお読みください。

### ランプの取付方法

#### <FHVW4201, 4251>

- ①あらかじめランプにキャップ・ゴムパッキンをはめてからソケットにセットしてください。[第4図]
- ②この時、ゴムパッキンを逆向きにつけないようにしてください。
- ③ランプの両端のゴムパッキンをソケット側いっぱいにはずらしてからキャップをねじ込んでください。この時、両方のキャップを少しずつ均等に締め付けてください。[第4図]  
(片側のみ締め過ぎた場合、ランプの接触不良の原因となります。)
- ④最後にキャップが根元までスキマなく締め付けられていることを確認してください。[第5図]

#### <FHVW4101A, 4151A>

- ①あらかじめランプにキャップ(リング・ゴムパッキン付)をはめてください。[第6図]
- ②ランプピン(4本)を確実に接触片に押し込んで固定させてください。[第6図]  
ランプピンが接触片に確実に固定されていない場合、不点や防水不良の原因となります。
- ③ランプの両端のキャップをソケット側いっぱいにはずらしてからキャップをねじ込んでください。この時、ゴムパッキンがソケットの溝に入ったことを確認し、両端のキャップを少しずつ均等に締め付けてください。[第6図]
- ④最後にキャップが根元までスキマなく締め付けられていることを確認してください。[第7図]

※キャップの締め付けが不完全な場合や、片側のみ締め過ぎた場合、ランプピンが接触片に確実に固定されていない場合、防水性能が保てずランプの接触不良・不点や火災・感電のおそれがあります。

※溝にそって真っすぐ強く押し込み、ランプピンを確実にソケット接触片で挟み込んでください。

### お客様への安全に関するご注意

・ご使用前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 ・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず保管してください。又、ランプ交換や器具清掃時などにも安全のため再度内容をご確認ください。

#### 警告

- ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。感電のおそれがあります。  
消灯直後にランプを素手で触れると、やけどのおそれがあります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、すぐに電源を切ってください。このような状態で使用すると火災・感電のおそれがあります。異常状態がおさまったことを確認してから、施工者又は最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
- 器具を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。

#### 注意

- 器具は定期的(年1回)に保守点検をおこない劣化の有無を確認してください。とくに3~5年以上経過したものは入念に点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで施工者に修理を依頼してください。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による。)
- この器具は防噴流形ではありません。直接水をかけて器具を洗浄しないでください。器具内への浸水により絶縁不良による感電の原因となります。
- ラジオ・ワイヤレスマイクや赤外線リモコン方式のテレビ等の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。それらの機器が正常に作動しない場合があります。

### 保守上のご注意

※ランプ交換および器具清掃は「保守上のご注意」をよくお読みのうえ『器具取付方法』と逆の順序で行ってください。

- ランプ交換および器具清掃時は、安全に関するご注意を再度ご確認ください。

器具の清掃・・・ ●器具の汚れはやわらかい布に中性洗剤を浸し、よくほってから拭いてください。  
 ●特にカバー部は、水拭きすると帯電防止効果を損ないますので、乾いた柔らかい布で拭いてください。  
 ●ソケット・カバー等のプラスチック部品は、ベンジン等の揮発性のものやアルカリ性の洗剤で拭かないでください。揮発性のものやアルカリ性洗剤を使用しますと変色・変質や破損の原因となります。  
 ●直接殺虫剤をかけないでください。変色・変質の原因となります。

ランプの清掃・・・ ●ランプを器具から外してやわらかい布に水を浸し、よく絞ってから拭いてください。

保証期間 この照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、安定器は3年間です。ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

交換部品 ・岩崎のランプをご使用ください。

器具形式	推奨蛍光ランプ	ランプ外径	適合ソケット
FHVW4101A, 4151A	FHF32EX-N-H	φ25mm	T133
FHVW4201, 4251	FHF32EX-N-H	φ25mm	T119

### 保守のための記録

施工者様へ 安全で便利な保守のために、各欄に記入しお客様に渡してください。

お客様へ ランプなどの交換の際は、適切な部品をお求めください。なお、安全のため保守作業はできるだけ施工者にご依頼ください。

#### 施工記録表

工 事 名	年 月 日取付
施 工 者 名	TEL
器 具 形 式	(      ) 台
電 源	
プレーカー番号	

商品についてのお問い合わせ (お問い合わせの際は、器具銘板または施工記録表で器具形式をご確認のうえご連絡ください)

【CSセンター】 電話番号 048(554)1124 FAX 048(554)7445  
 お問い合わせ受付時間：月～金/9:00～17:00(土・日曜・祝日・年末年始・当社休業日を除く)  
 ※電話番号等、変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。